

神社で学ぶ お米づくり

6月

初夏のさわやかな風に吹かれながら泥んこになって昔ながらの田植えを体験します。



早乙女や白丁の衣装を着て田植え体験もできます。(詳細裏面)

10月

秋風にゆれる稲穂は日本の原風景。
昔ながらの方法で収穫します。
稲穂一束が一杯のごはん。
だから昔からお米を大切に育てたんだ



平成26年
4月14日
午前9時30分
申込受付開始

※電話のみの受付
となります
定員になり次第
締め切らせていただきます

お問い合わせ・お申込は

TEL 0570-076-888

<http://ntour.jp> E-mail: green@ntour.co.jp

(株)農協観光首都圏支店グリーンツーリズム事業課
受付時間 9:30 ~ 19:30 土・日曜、祝日 10:00 ~ 18:00

第8回

田んぼ 学校

開校

平成26年

日帰り

田植え・稲刈り
2回の体験セット

大人 8,000 円
小人 5,000 円

(大人:中学生以上 小人:小学生以下となります)

2歳以下のお子様についてはバスの座席と昼食がない場合に限り無料

どうして私たちは
お米を食べるの?
田んぼ学校で勉強してみよう
実際にお米を作ってみよう

全員に収穫米を
おひとり
2キロプレゼント

※後日発送・送料別途ご負担

日程

田植え 平成 26 年 6 月 22 日 (日)
稲刈り 平成 26 年 10 月 5 日 (日)

参加
対象者

3歳以上~中学生以下のお子様と
その保護者(親子と限りません)
*大人だけの参加は不可

募集
人数

80名(大型貸切バス2台・ガイド無)

持ち物

雨具・タオル・健康保健証・軍手(稲刈り)

場所

埼玉県熊谷市・古宮神社と近接園場



こみや
古宮神社

埼玉県熊谷市池上 606

神社が鎮座する熊谷市池上は弥生時代中期に水耕が始まったと言われており、今でも荒川の伏流水に恵まれた地域です。神社は長寛2年(1164年)建立と古く、その由緒から古宮神社と名付けられ地域の総鎮守として親しまれています。

一般財団法人

事業企画
運 営

日本文化興隆財団

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-5-10

電話 03-5775-1145 FAX 03-3475-5805

協 力

古宮神社

旅行企画
実 施

NTOUR 株式会社 農協観光

首都圏支店グリーンツーリズム事業課

10月5日(日)稲刈り

神社で伝統の米作り体験

6月22日(日)田植え

稲刈り



6月に植えた小さな苗が、黄金色の稲穂に。田んぼ一面に実った稲穂を鎌を使って収穫します。収穫作業は農家の方とスタッフが指導・お手伝いします。刈り取った稲穂は藁で束ねてハサに掛けます。



脱穀・もみすり・精米 疑似体験



普段食べている白いお米はどのように作られているのか疑似体験します。昔の人の苦勞がわかる体験です。

豊作感謝祭



稲が無事に生長したことを感謝し、みんなが豊かに暮らせるようにお祈りします。お米をつくる楽しさと豊作に感謝する日本の伝統文化を心と体で体験してください。



「お米に感謝」を子供たちに
日本文化興隆財団

「田んぼ学校」は、「稲作」体験だけではなく、日本人がどうしてお米を食べてきたのか、その歴史からもアプローチした「日本人とお米」を再発見する学校として毎年開催しています。私たちが子どもたちに残したいもの。その一つに「稲作」があります。そして、「稲作」の理解を通して昔から培ってきた感謝の心を伝えていきたいと思っております。



JR 品川駅発 7:15 (港南口)

JR 新宿駅発 8:00 (工学院大学前)

車中オリエンテーション

古宮神社着

- ①開校式
- ②稲刈り体験
- ③束ね体験・ハサ掛け体験
- ④コンバインデモン

ストレーション

⑤昼食・餅つき大会

⑥脱穀・もみすり

精米疑似体験

⑦豊作感謝祭

⑧閉校式

JR 新宿・品川駅着

(18:30 ~ 19:30 着予定)

【注意事項】 コース表に記載されている時間は目安であり、交通事情や天候で変更になる場合があります。また農業体験についても天候により異なる場合があります。



JR 品川駅発 7:15 (港南口)

JR 新宿駅発 8:00 (工学院大学前)

車中オリエンテーション

古宮神社着

- ①開校式
- ②豊作祈願祭
- ③お米のお話 (講話)
- ④昼食
- ⑤田植え体験

ストレーション

⑥田植機デモン

⑦お米クイズ大会

⑧閉校式

JR 新宿・品川駅着

(18:30 ~ 19:30 着予定)

豊作祈願祭



植えた苗がしっかりと育つよう神様にお祈りします。希望するお子さんには忌衣(おみごろも)を着てもらい、神様に神饌(しんせん)をお供えする体験もできます。当日、男女問わず5名募集します。



お米のおはなし

古宮神社 宮司 茂木貞純先生 (國學院大學教授)

田んぼ学校の本『いただきます』を教科書に、日本人はなんでお米を食べてきたのか、お米づくりから何を学んできたのか。わかりやすくお話しします。

田植え体験



苗の持ち方、植え方を教わり、田んぼに張られたロープを目印に苗を植えていきます。昔ながらの手植えを体験してください。また、早乙女(さおとめ)や白丁(はくちょう)の日本の伝統衣装でも体験もできます。※下記参照 手植え体験の後は、田植機のデモンストレーションも行います。昔と今の田植えを比べてください。



左: 田植え機デモンストレーション

右: お米クイズ大会

■食事条件: 屋1回 ■最小催行人員: 35人 ■添乗員: 出発地より同行し、旅行管理業務を行います。■ご参加のお客様には旅行当日アンケートにご協力いただきます。■旅行代金に含まれるもの: 行程表に表示の往復交通費、昼食代(田植え・稲刈り各1回)、各種イベント費用 ■受付: 2名様から受付します。■この旅行には取引条件書に記載の特別補償が付加されております。なお、お客様のご要望によって、別途任意の保険をお申込み頂くこともできます。詳細は専用のパンフレットをご覧ください。■その他の補償事項につきましては、当社旅行業約款によります。

旅行企画 実施

NTour株式会社 農協観光

首都圏支店グリーンツーリズム事業課

総合旅行業務取扱管理者 大場かおる

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-1JAビル26F

TEL0570-076-888

受付時間 9:30 ~ 19:30 (土・日曜・祝日 10:00 ~ 18:00)

http://ntour.jp E-mail:green@ntour.co.jp

観光庁登録旅行業第939号

平成26年 4月14日 午前9時30分 申込受付開始 ※電話のみの受付となります

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業店での取引責任者です。この旅行計画に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく上記総合旅行業務取扱管理者にご質問ください。

さおとめ はくちょう

早乙女&白丁着付体験

◎田植えのみ実施

日本の伝統衣装の赤白鮮やかな早乙女衣装と白丁の衣装を着て田植え体験ができます。

早乙女: 女の子限定5人

※装束の都合で身長140cm以上の方に限ります。

白丁: 男女5人

※小学1年生以上

田植え当日、田んぼに向かうバス内で募集します。



早乙女



白丁